おかげさまで95周年

Humanilation――信頼のきずな
MITO
水戸証券株式会社

証券コード：8622

2016年３月期　決算説明会資料

2016年5月26日
水戸証券株式会社

本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の有価証券の売買を勧誘するものではありません。また、本資料に記載された事項の全部または一部は予告なしに修正または変更されることがあります。本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により実際の数値と異なる可能性があります。

Copyright © 2016 MITO SECURITIES CO., LTD. All Rights Reserved.

目次

MITO SECURITIES

第一部　決算の状況（2016年3月期）

・収支の状況 ・・・P.4
・受入手数料 ・・・P.5
・トレーディング損益 ・・・P.6
・販管費・一般管理費 ・・・P.7
・貸借対照表① ・・・P.8
・貸借対照表② ・・・P.9
・財務の状況 ・・・P.10

第二部　経営戦略

・第三次中期経営計画【概要】 ・・・P.12
・　〃　【定量目標と実績】 ・・・P.13
・　〃　【定性目標と施策】 ・・・P.14
・　〃　【安定基盤の構築と収益構造の変化】 ・・・P.15
・　〃　【販管費カバー率】 ・・・P.16
・　〃　【総括】 ・・・P.17
・三次中計から経営ビジョン、四次中計へ ・・・P.18
・第四次中期経営計画【定量目標と達成イメージ】 ・・・P.19
・　〃　【施策】 ・・・P.20
・マーケティング力の進化 ・・・P.21
・　〃　【提案力の強化①】 ・・・P.22
・　〃　【提案力の強化②】 ・・・P.23
・　〃　【提案力の強化③】 ・・・P.24
・　〃　【提案力の強化④】 ・・・P.25
・　〃　【提案力の強化⑤】 ・・・P.26
・マーケティング力の進化【総合力の強化①】 ・・・P.27
・　〃　【総合力の強化②】 ・・・P.28
・　〃　【総合力の強化③】 ・・・P.29
・　〃　【総合力の強化④】 ・・・P.30
・スキルアップ ・・・P.31
・CSR／地域貢献 ・・・P.32
・ブランディング戦略 ・・・P.33
・株主還元 ・・・P.34

＜参考資料＞

・会社概要・経営理念 ・・・P.36
・特徴とあゆみ ・・・P.37
・創業の地、茨城 ・・・P.38
・株主構成 ・・・P.39
・コーポレート・ガバナンス ・・・P.40
・米国株式 ・・・P.41
・商品別収益の推移 ・・・P.42
・商品別預かり資産の推移 ・・・P.43
・投資信託の残高推移 ・・・P.44
・ファンドラップの残高推移 ・・・P.45
・外国債券の残高推移 ・・・P.46
・登録口座の状況 ・・・P.47
・NISAの状況 ・・・P.48
・人員数 ・・・P.49

第一部　決算の状況（2016年3月期）

◆ 収支の状況

MITO SECURITIES

- 2016年3月期は、昨年8月の中国人民元切り下げをきっかけとした市況悪化等により、減収減益となった
- 2016年3月期第4Qは、市況の低迷により2013年3月期1Q（欧州債務危機）以来の四半期赤字となった

（単位：百万円）

科目	2015年3月期	2016年3月期	増減率
営業収益	15,192	13,223	▲13.0%
純営業収益	15,129	13,164	▲13.0%
営業損益	2,988	1,024	▲65.7%
経常損益	3,323	1,444	▲56.5%
四半期純利益	2,485	1,983	▲20.2%

2015年3月期				2016年3月期				前四半期比増減率
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
3,511	3,999	4,048	3,632	3,846	3,125	3,362	2,888	▲14.1%
3,498	3,985	4,034	3,611	3,831	3,110	3,348	2,874	▲14.2%
674	847	1,100	366	798	▲10	308	▲72	—
901	813	1,206	402	980	45	448	▲29	—
816	266	952	450	640	264	1,144	▲65	—

◆ 受入手数料

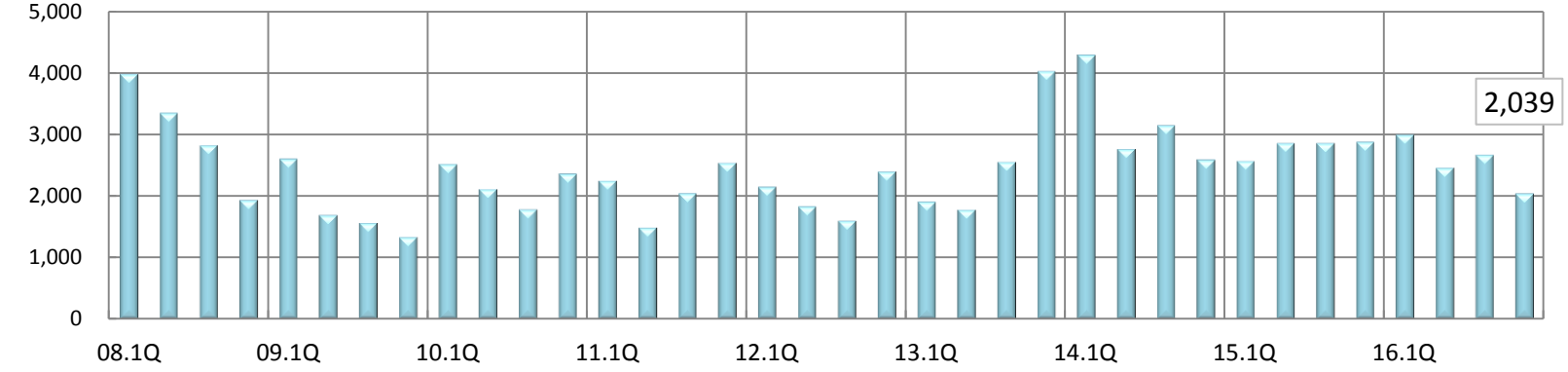
MITO SECURITIES

- 2016年3月期の委託手数料は、第2Qの急落、第4Qの低迷を受け、前期比96.4%となった
- 募集・売出手数料は、市況低迷の中、積極的な買い需要には繋がらず前期比75.7%となった
- その他受入手数料は、ファンドラップの積み増しにより前期比105.4%と増加した

（単位：百万円）

科目別	2015年3月期	2016年3月期	前期比	2015年3月期 1Q	2015年3月期 2Q	2015年3月期 3Q	2015年3月期 4Q	2016年3月期 1Q	2016年3月期 2Q	2016年3月期 3Q	2016年3月期 4Q
委託手数料	4,661	4,494	96.4%	1,026	1,233	1,219	1,183	1,302	1,027	1,200	965
引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料	56	94	165.7%	0	51	3	2	2	2	85	5
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱数料	4,088	3,094	75.7%	997	1,001	1,035	1,055	1,039	793	772	490
その他の受入手数料	2,348	2,476	105.4%	539	571	601	637	650	634	611	581
合計	11,155	10,158	91.1%	2,564	2,855	2,856	2,878	2,994	2,456	2,668	2,039

（単位：百万円）



◆ トレーディング損益

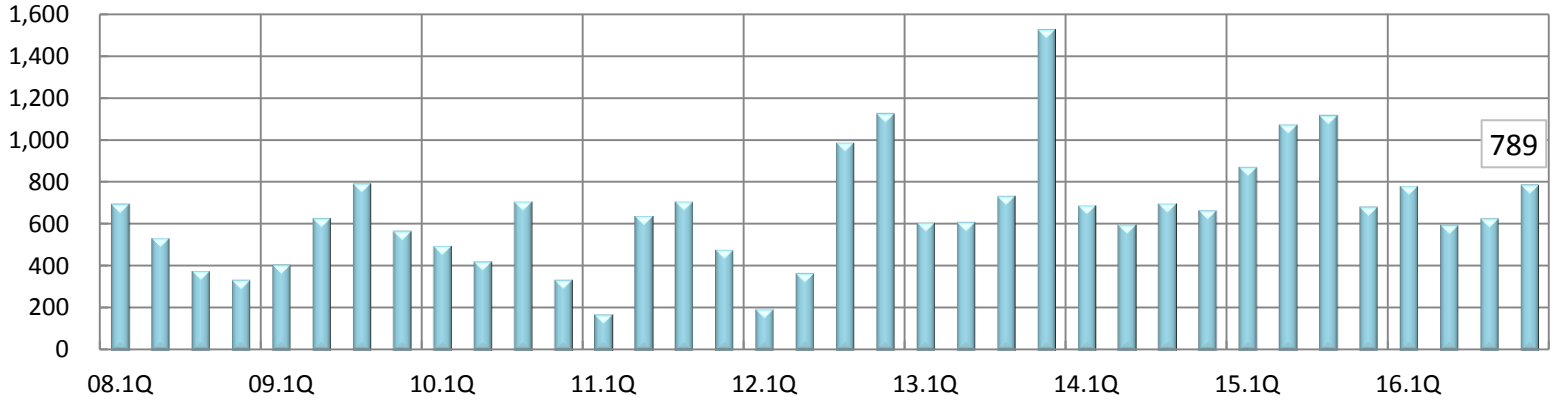
MITO SECURITIES

- 2016年3月期の株券等は、米国株式市況が以前ほどの勢いを失った結果、前期比48.2%と大きく減少した
- 2016年3月期の債券・為替等は、相場動向を鑑み下期に外国債券の販売額を調整したことから、前期比84.5%となった

（単位：百万円）

	2015年3月期	2016年3月期	前期比	2015年3月期 1Q	2015年3月期 2Q	2015年3月期 3Q	2015年3月期 4Q	2016年3月期 1Q	2016年3月期 2Q	2016年3月期 3Q	2016年3月期 4Q
株券等	1,017	490	48.2%	271	252	306	188	159	148	109	74
債券・為替等	2,738	2,314	84.5%	602	825	815	496	624	452	522	715
（債券等）	(2,783)	(2,218)	79.7%	(712)	(728)	(967)	(376)	(638)	(293)	(570)	(717)
（為替等）	(▲44)	(95)	—	(▲110)	(97)	(▲152)	(121)	(▲13)	(158)	(▲49)	(▲1)
合計	3,755	2,804	74.7%	874	1,076	1,121	684	784	599	630	789

（単位：百万円）



◆ 販管費・一般管理費

MITO SECURITIES

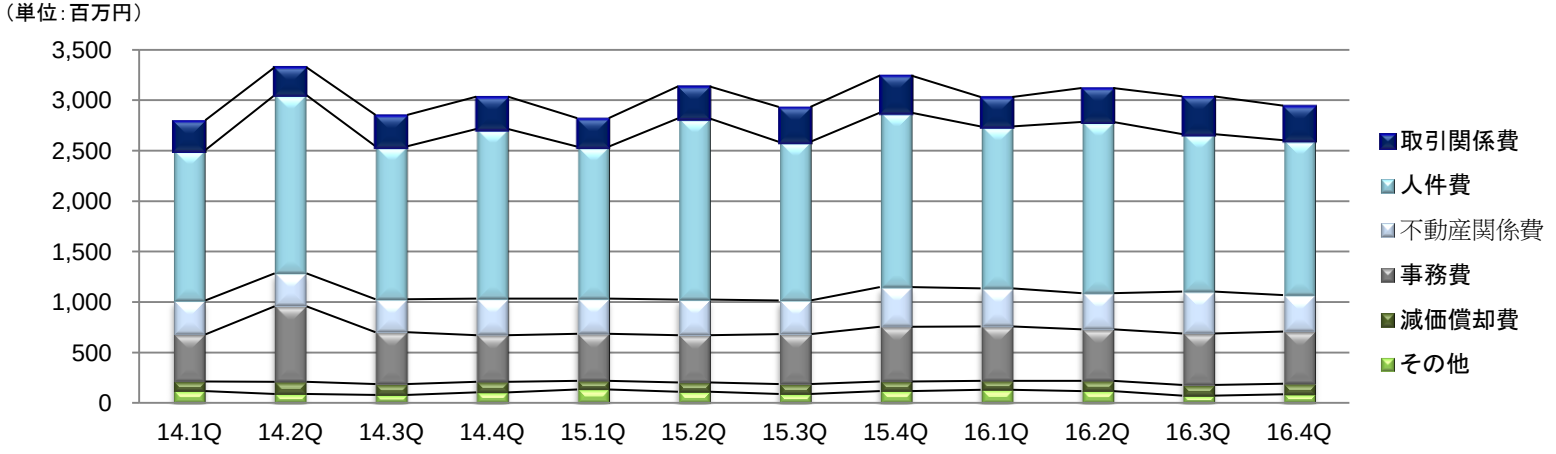
■ 2016年3月期の人件費は、人員増により固定給は増加したものの、営業利益の減少に伴う賞与引当金繰入の減少等により前年度比で減少した

■ 一方で、マイナンバー対応の一時費用などがあり、合計では前期並みとなった

（単位：百万円）

科目	2015年3月期	2016年3月期	前期比
取引関係費	1,318	1,346	102.1%
人件費	6,599	6,397	96.9%
不動産関係費	1,430	1,511	105.7%
事務費	1,974	2,076	105.2%
減価償却費	373	401	107.5%
その他	447	409	91.5%
合計	12,141	12,140	100.0%

	2015年3月期				2016年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
取引関係費	283	318	346	369	292	336	375	342
人件費	1,506	1,794	1,569	1,728	1,605	1,697	1,560	1,535
不動産関係費	348	353	335	393	375	359	417	360
事務費	466	467	496	543	541	509	509	517
減価償却費	87	94	98	93	89	102	106	103
その他	133	111	90	117	130	114	77	89
合計	2,823	3,137	2,934	3,245	3,032	3,121	3,040	2,946



◆ 貸借対照表①

MITO SECURITIES

資産の部

- 前期末比流動資産が86.2%と減少している、預り金の減少に伴って預託金が減少したことや、投資信託の募集等払込金が減少したことによるもの
- 前期末比固定資産計が84.8%と減少している、投資有価証券の売却と値下がりによるもの

（単位：百万円）

	科目	2015年3月期				2016年3月期				前期末比
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
流動資産	現預金	19,441	21,595	28,301	20,842	22,316	23,127	24,691	19,572	93.9%
	信用取引資産	10,680	10,924	10,874	10,547	10,627	11,859	10,575	9,485	89.9%
	その他	18,102	18,275	15,292	18,709	19,351	15,363	15,167	14,126	75.5%
	流動資産計	48,223	50,794	54,467	50,098	52,294	50,349	50,435	43,183	86.2%
固定資産	有形固定資産	3,980	3,978	3,908	3,892	3,823	3,779	3,743	3,632	93.3%
	無形固定資産	163	161	156	172	199	189	183	191	111.0%
	投資有価証券	11,024	11,258	12,086	13,757	15,242	13,484	12,805	11,165	81.2%
	その他	803	801	800	826	827	832	827	820	99.3%
	固定資産計	15,970	16,198	16,950	18,647	20,091	18,284	17,558	15,808	84.8%
資産合計		64,193	66,993	71,417	68,745	72,386	68,634	67,994	58,991	85.8%

◆ 貸借対照表②

MITO SECURITIES

負債・純資産の部

- 前期末比流動負債が68.5%と減少している、譲渡益税等の預り金やお客さまの口座預り金の減少によるもの
- 前期末比純資産合計は96.3%と減少している、評価差額金の減少によるもの

（単位：百万円）

		科目	2015年3月期				2016年3月期				前期末比
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
負債	流動負債	短期借入金	2,870	2,870	2,840	2,740	2,740	2,740	2,740	2,740	100.0%
		賞与引当金	225	670	277	670	260	576	200	394	58.8%
		流動負債計	22,145	24,997	28,220	23,791	26,061	23,841	23,555	16,292	68.5%
	固定負債	長期借入金	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		固定負債計	5,138	5,274	5,506	5,660	6,157	5,565	5,359	4,843	85.6%
	負債合計		27,379	30,367	33,822	29,547	32,315	29,502	29,010	21,231	71.9%
純資産	株主資本	資本金	12,272	12,272	12,272	12,272	12,272	12,272	12,272	12,272	100.0%
		資本剰余金	8,637	8,080	8,080	8,080	8,080	8,080	8,080	8,080	100.0%
		利益剰余金	12,743	13,010	13,563	14,013	13,860	14,124	14,835	14,770	105.4%
		自己株式	▲1,023	▲1,067	▲1,252	▲1,252	▲1,252	▲1,252	▲1,662	▲1,662	—
		株主資本合計	32,630	32,295	32,663	33,113	32,960	33,224	33,526	33,460	101.0%
	純資産合計		36,813	36,625	37,594	39,197	40,071	39,131	38,983	37,759	96.3%
負債・純資産合計			64,193	66,993	71,417	68,745	72,386	68,634	67,994	58,991	85.8%

◆ 財務の状況

MITO SECURITIES

■ 純資産は減少したものの、負債の減少が大きかったため自己資本比率が60%を超えた

■ 株価が1株あたり純資産を割り込んでいることは課題

（単位：百万円）

項目	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期
有利子負債	2,970	3,120	2,740	2,740
純資産	33,696	36,690	39,197	37,759
総資産	58,636	62,265	68,745	58,991
1株当たり純資産	454.53円	495.04円	543.49円	530.92円
自己資本比率	57.5%	58.9%	57.0%	64.0%
D/Eレシオ	8.8%	8.5%	7.0%	7.2%
自己資本規制比率	582.8%	590.5%	602.3%	636.5%
経常利益	2,847	4,187	3,323	1,444
当期純利益	2,612	3,756	2,485	1,983
1株当たり純利益	35.24円	50.67円	34.04円	27.65円
ROA※1	4.9%	6.7%	4.8%	2.4%
ROE※2	7.8%	10.2%	6.3%	5.2%

※1　ROA＝経常利益/総資産　　※2　ROE＝純利益/自己資本　　※1、※2いずれも期末時点のB/S・P/Lに基づく

第二部　経営戦略

◆ 概 要

対象期間

2013年4月～2016年3月（3年間）

当社が目指すべき将来の姿

『シニアサービスの達人』

ミッション

安心して取引ができる証券会社
運用アドバイスがうまい証券会社
いつでもどこでも相談できる証券会社

定量目標

（単位：億円、口座）

	投資信託・外国債券 純増額			ファンドラップ純増額	新規口座開設数
	投資信託＋外国債券	（投資信託）	（外国債券）		
期間目標	1,350	（810）	（540）	240	27,000

定性目標

■ **地域でのシェア拡大**

1. 店舗機能の充実
2. 商品の多様化

■ **お客さまサービスの向上**

1. アドバイススキルの向上
2. 情報提供の強化
3. 付随サービス体制の強化
4. 業務品質の向上
5. 社員のホスピタリティの向上

◆ 定量目標と実績

第三次中期経営計画で定めた定量目標と実績

（単位：億円、口座）

	投資信託・外国債券 純増額			ファンドラップ純増額	新規口座開設数
	投資信託＋外国債券	（投資信託）	（外国債券）		
期間目標	1,350	（810）	（540）	240	27,000
累積実績	1,216	（799）	（417）	243	23,413
達成率	90%	（99%）	（77%）	101%	87%
達成度	○	○	△	◎	△

※ファンドラップ純増額目標を期間中に上方修正(190億円→240億円)

- 投資信託・外国債券の純増額 ➡ 投資信託純増はほぼ目標達成も、外国債券は方向感の定まらないマーケットの影響を受け達成率77%
- 外国債券 ➡ 収益源として貢献 、外国債券毎月20億円の販売体制を構築
- ファンドラップ残高 ➡ 順調に増加 （2013年3月末 212億円 → 2016年3月末 446億円）
- ファンドラップ純増 ➡ 目標達成 （101%）
- 新規口座開設数 ➡ 最終年度は郵政グループのIPOによる追い風があったものの、87%と伸び悩む

◆ 定性目標と施策

定性目標達成のために実施した施策

ミッション

シニアサービスの達人

- 安心して取引ができる証券会社
- 運用アドバイスがうまい証券会社
- いつでもどこでも相談できる証券会社

地域でのシェア拡大

店舗機能の充実

・店舗リニューアル　・2店舗新設（下野営業所、鶴ヶ島営業所）

商品の多様化

・投資助言業務の認可取得とラップ型投信スタート
・ファンドラップ定時定額払戻、マネープールの開始

お客さまサービスの向上

アドバイススキルの向上

・FP資格取得の推進　・FP資格を昇格条件に追加
・ロールプレイングコンテスト

情報提供の強化

・HPコンテンツ、情報の拡充　・WEB会議システムの活用

付随サービス体制の強化

・相続贈与セミナー　・税理士等の専門家による個別相談会
・ウェルスマネジメント部の設立（2013年4月）
・相続、贈与等コンサルティング機能の拡充

業務品質の向上

・QC活動による事務の標準化　・CS活動への部店表彰

ホスピタリティの向上

・お客さまサービス向上委員会を軸とした全社的CS活動の浸透

◆ 安定基盤の構築と収益構造の変化

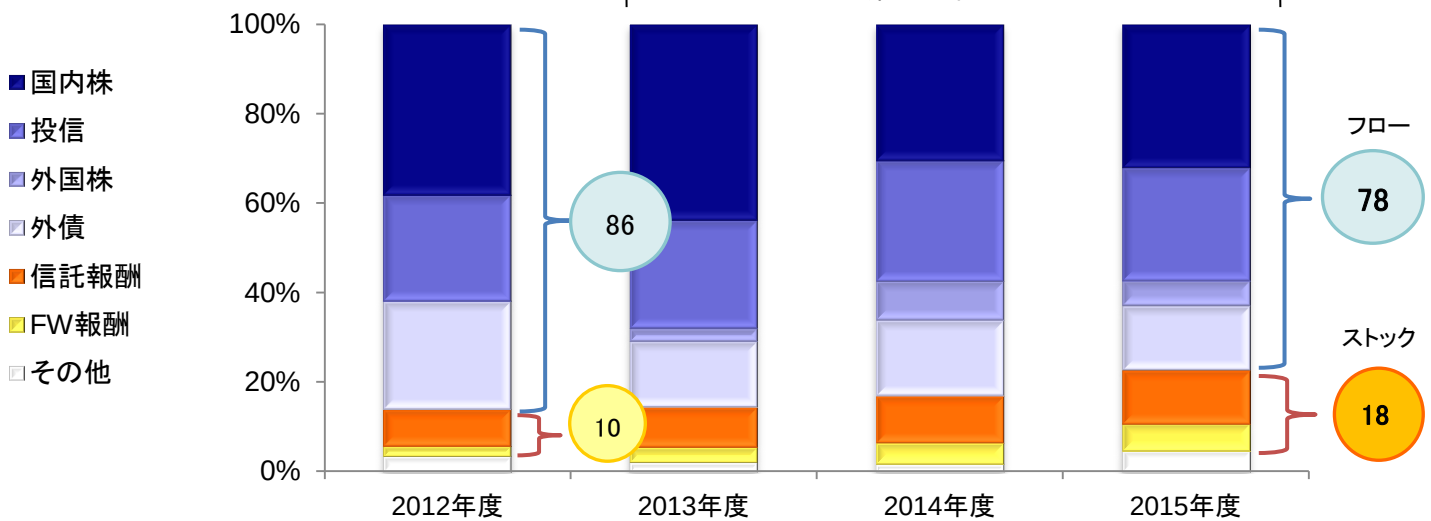
MITO SECURITIES

フロー収益とストック収益の推移

■ 三次中計期間を通じ、投資信託・ファンドラップの積み上げにより「信託報酬およびファンドラップ報酬」のストック収入の割合が着実に増加

（単位：百万円）

	科目	2012年度		2013年度		2014年度		2015年度	
フロー	国内株	5,327	38%	6,862	43%	4,610	30%	4,399	33%
	投資信託	3,310	24%	3,791	24%	4,082	27%	3,087	24%
	外国株式	28	0%	458	3%	1,309	9%	683	5%
	外国債券	3351	24%	2,307	15%	2,554	17%	2,150	16%
ストック	信託報酬	1,149	8%	1,405	9%	1,587	10%	1,597	12%
	ファンドラップ報酬	334	2%	538	3%	716	5%	842	6%
	その他	477	4%	342	3%	271	2%	406	3%
	純営業収益	13,976	100%	15,703	100%	15,129	100%	13,164	100%



ストック収益の増大を図り、更なる安定基盤の構築へ

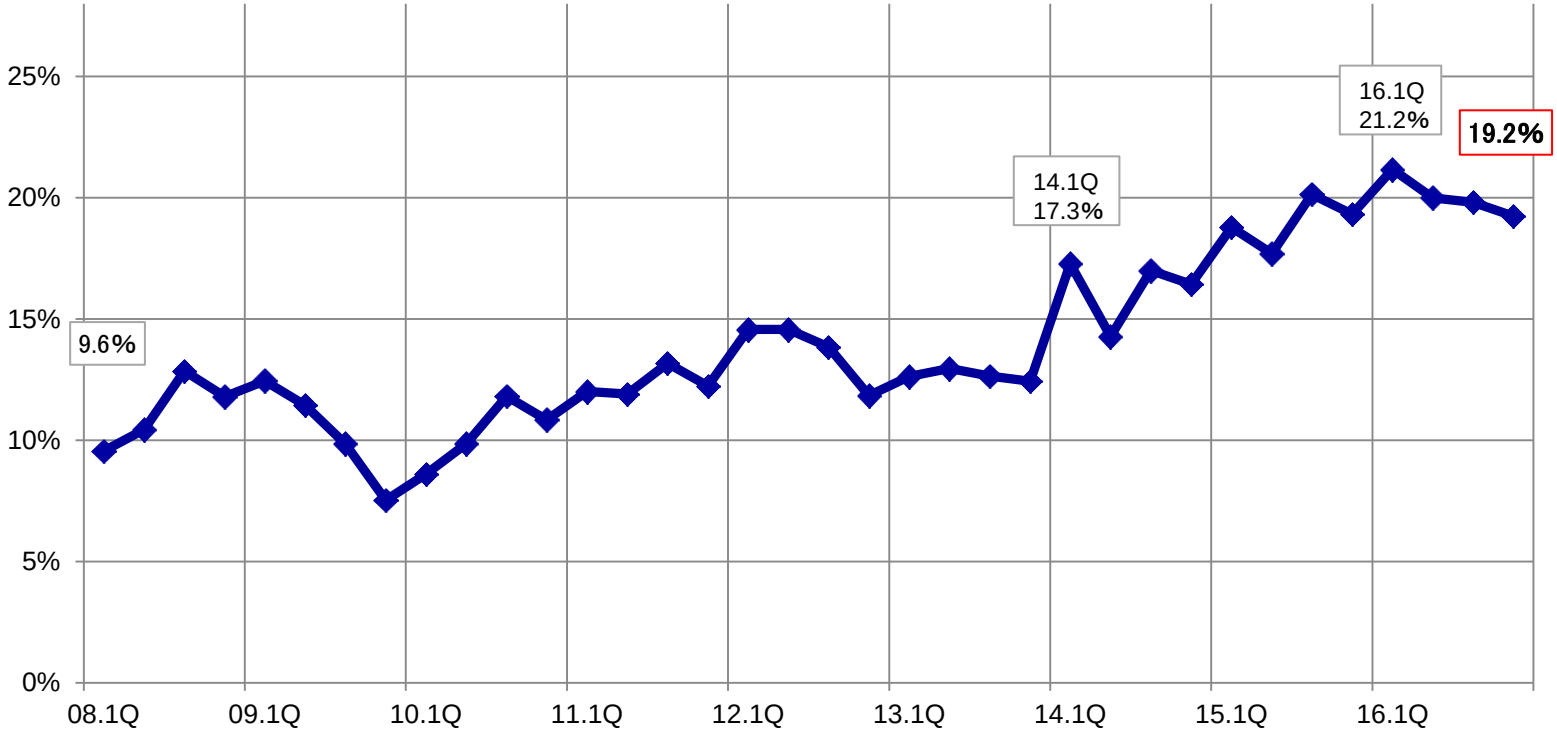
◆ 販管費カバー率

MITO SECURITIES

ストック収益による販管費カバー率（四半期推移）

■ 取り組んできた収益構造改革が寄与し、販管費カバー率は着実に改善傾向

※ストック収益・・・投資信託代行手数料・ファンドラップ報酬
※販管費カバー率＝ストック収益／販管費×100



◆ 総 括

MITO SECURITIES

■ **安定収益基盤の構築に向けた方針が浸透**

- ファンドラップ残高の積み上げを主因に、ストック収入による販管費カバー率は上昇
- 投資信託純増額は計数目標をほぼ達成
- 但し分配金の流出や2015年下期の相場低迷により時価ベースの投資信託残高は微増に留まる

■ **営業店支援体制の整備が進展**

- 8年ぶりの新規出店再開に加え、取扱い商品の多様化、ウェルスマネジメント部やカスタマーセンターによる営業店支援の整備が進展

■ **対処すべき課題**

- 投資信託の純増を拡大させるための更なる収益構造改革の推進
- 新店舗やコンサルティング営業の収益増大

第三次中期経営計画

経営ビジョンの
目標達成に向けて

第四次中期経営計画へ

◆ 三次中計から経営ビジョン、四次中計へ

MITO SECURITIES

➢ 中長期的な顧客利益、社員満足度を重視
➢ 長期的な企業利益も確保

第三次中期経営計画における課題

アクションプランとしての第四次中期経営計画

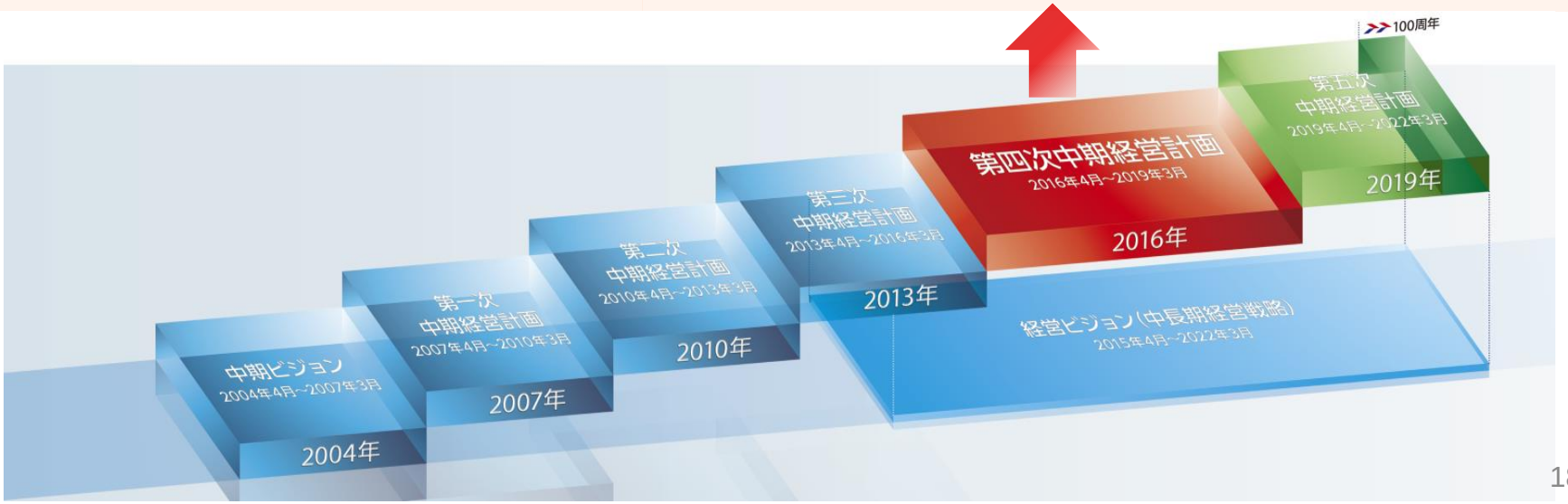
経営ビジョン

Vision1. お客さまからの信頼度No.1の会社
Vision2. 社員が誇りを持って働き自己実現できる会社
Vision3. 金融サービスと情報発信で地域の発展に貢献する会社
Vision4. ビジネス構造の変革に挑戦し続ける会社

経営ビジョンが目指す経営指標

・平均ROE8% 2016～2018年度 ・平均ROE10% 2019～2021年度	ストック収入による販管費カバー率 30%以上 ※2021年度目標値	ファンドラップ預り資産 1,000億円 ※2022年3月末目標

※ストック収入（投信代行・FW報酬）



◆ 定量目標と達成イメージ

MITO SECURITIES

対象期間

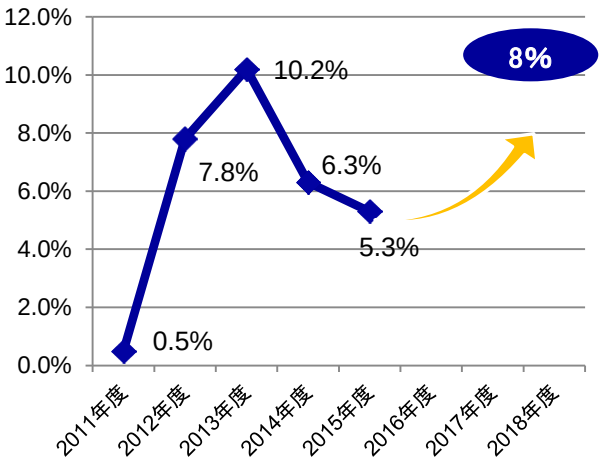
2016年4月～2019年3月（3年間）

定量目標

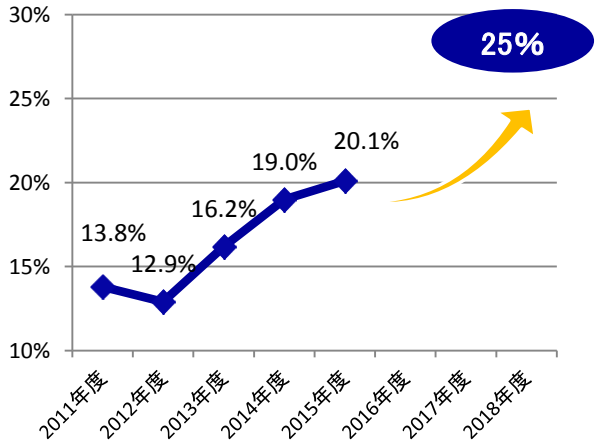
計数目標		
① ROE （2016年度～2018年度期間平均）	② 販管費カバー率 （2018年度）	③ ファンドラップ預り （2018年度末）
8%	25%	870億円

3年後（第四次中期経営計画）の達成イメージ

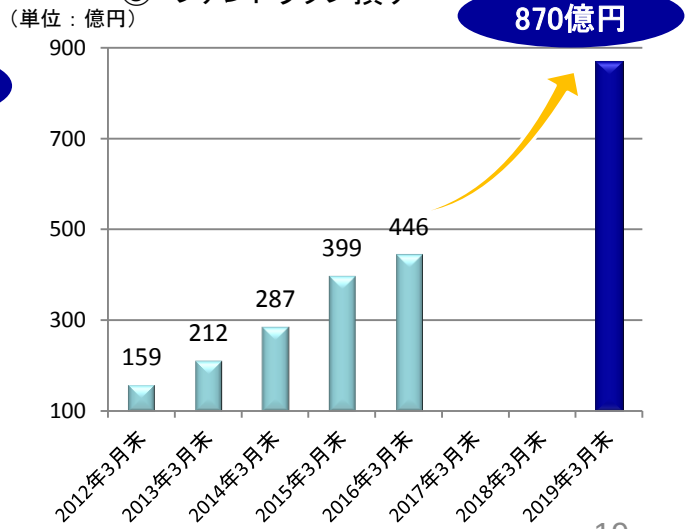
① ROE



② 販管費カバー率



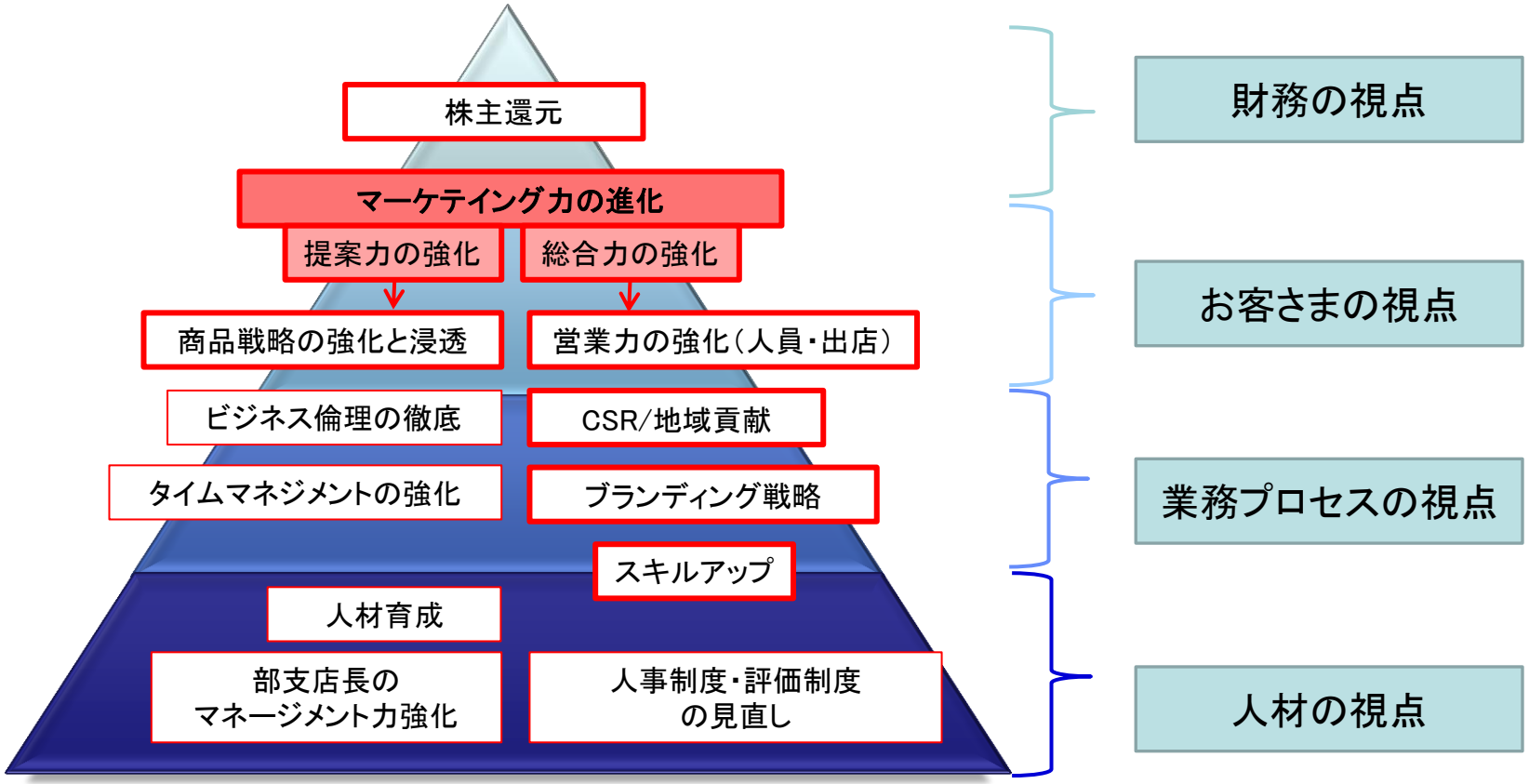
③ ファンドラップ預り



◆ 施 策

施策のポイント

■ 「人材」「お客さま」「当社の業務プロセス（ビジネス活動のやり方）」「財務（株主還元策等）」それぞれの切り口で、経営ビジョン達成、企業価値の中長期的な拡大の為に必要な施策を重層的に実践していく方針



◆ マーケティング力の進化

MITO SECURITIES

提案力・総合力の強化

提案力の強化

- 商品戦略の強化と浸透
- お客さまのニーズに合わせた提案
  → 適合性、運用ニーズ、ゴールベース
- 水戸ファンドラップを活用した
  お客さま満足度向上の試み

総合力の強化

- 営業力強化（人員・出店）
- ウェルスマネジメントによるお客さまランク
  アップおよび次世代マネーの取り込み
- 対面サービスの向上とIT

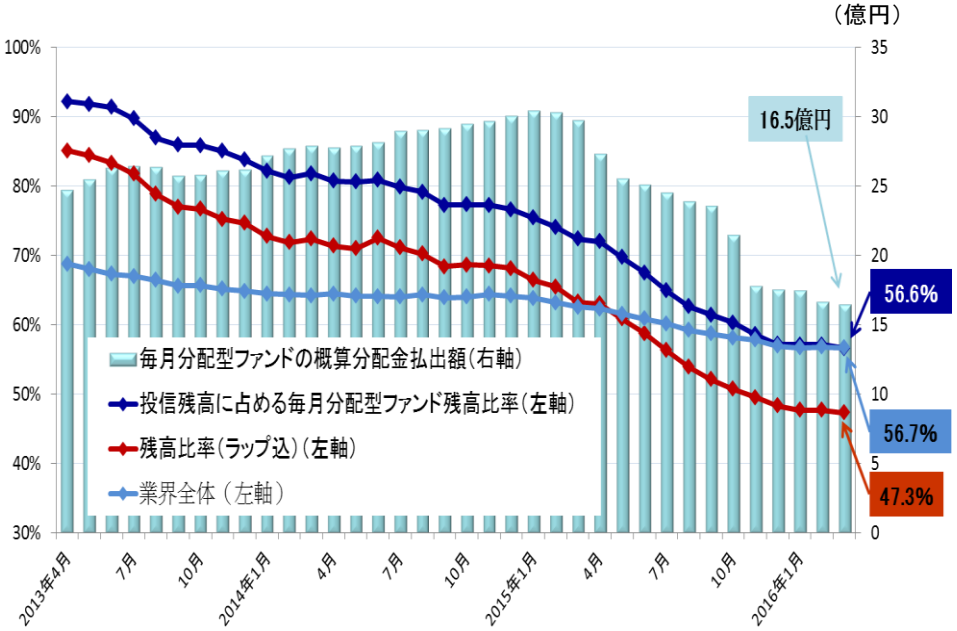
◆ マーケティング力の進化【提案力の強化①】

MITO SECURITIES

商品戦略の強化と浸透

- お客さまのニーズに合わせた資産形成を支援する観点から、当社独自の推奨ファンド方式を推進しお客さまニーズに合わせた商品を適宜提案
- 推奨ファンド方式の採用により、毎月分配金型ファンドの比率改善、分配金流出の低下、投資信託平均保有期間の改善

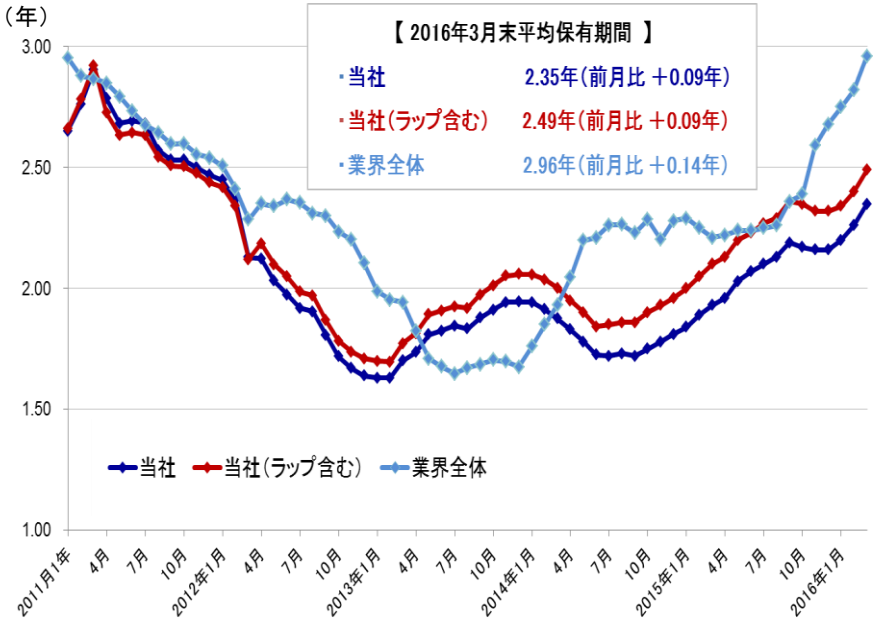
毎月分配型ファンドの概算分配金払出額推移



（2016年3月末現在）

※業界全体の投信残高並びに毎月分配型ファンド残高比率は、公募株式投信（単位型＋追加型）からETFを除いて算出

公募株式投信（ETFを除く）平均保有期間



（2016年3月末現在）

※業界全体の投信残高は、公募株式投信（単位型＋追加型）からETFを除いて算出

◆ マーケティング力の進化【提案力の強化②】

MITO SECURITIES

お客さまのニーズに合わせた提案

■ 従来のコア・サテライト戦略 を、よりお客さまのニーズに合わせた商品戦略 へ進化

・ お客さまのニーズを大きく3つに分類

① 積極的にリターンの獲得を目指すニーズ → サテライト

② 資産を中期的に増やしたいニーズ → コア

③ 預金プラスα（アルファ）を目指すニーズ → コア

・ 水戸ファンドラップを含めたコア・サテライトの組み合わせによるお客さまの中長期的な資産形成を支援

↓

**プロダクトアウト型営業から
マーケットイン型営業への挑戦**

◆ マーケティング力の進化【提案力の強化③】

MITO SECURITIES

水戸ファンドラップを活用したお客さま満足度向上の試み【ファンドラップの推進】

■ コア戦略の代表的商品として、他社との差別化に寄与

- ファンドラップは2009年の導入以来順調に契約資産残高が増加し、国内証券では第6位。
- 信託報酬の伸びが、安定収益の基盤に繋がっている。
- 2015年4月　分配金ニーズへの対応として「定時定額払戻」、値下がり時の運用選択肢拡大のために「マネープール」を導入。
- 2015年10月　「投資助言・代理業」の認可取得、12月からラップ型投信の助言業務をスタート。

国内ファンドラップ口座残高推移

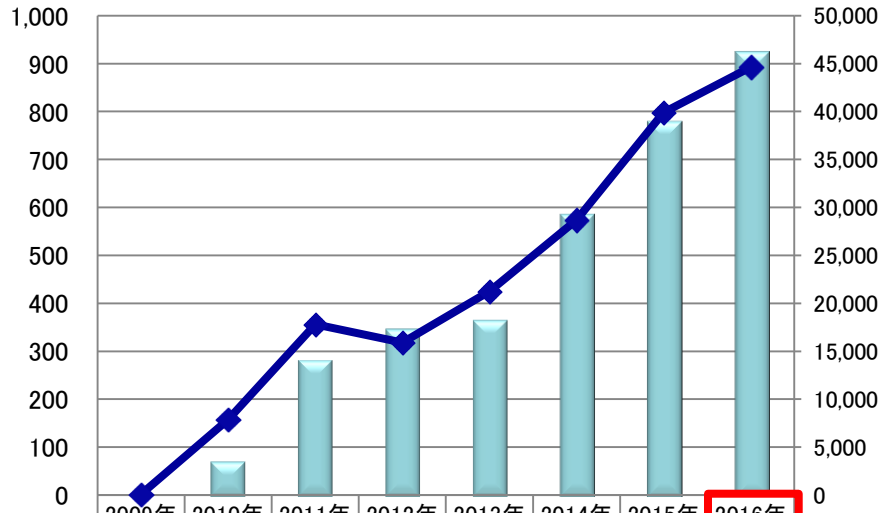
（単位：億円）

国内証券順位		2012年3月末	2013年3月末	2014年3月末	2015年3月末	2015年12月末
1	A証券	791	1,282	2,418	13,380	21,644
2	B証券	2,534	3,449	5,649	12,430	15,753
3	C証券	387	292	1,235	3,742	7,305
4	D証券	337	323	303	1,090	1,904
5	E証券	120	96	52	354	652
6	水戸証券	159	212	287	399	441
国内合計		5,790	7,683	13,750	38,973	56,711

出所：日本投資顧問業協会HPより当社作成
（2015年12月末時点）

投資一任報酬・信託報酬と契約資産残高の推移

（単位：百万円）



	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期
投資一任報酬・信託報酬（左軸）	0	73	284	349	367	588	781	926
契約資産残高（右軸）	95	7,856	17,802	15,914	21,237	28,668	39,895	44,641

（2016年3月末時点）

◆ マーケティング力の進化【提案力の強化④】

MITO SECURITIES

水戸ファンドラップを活用したお客さま満足度向上の試み【ファンドラップの魅力】

手厚いフォローと充実のサービス

■ **四半期運用報告書**

3．6．9．12月の各月末を基準日とし、運用報告書を発送

■ **水戸ファンドラップのインターネットサービス**

①Webサービス

インターネット上で日々の運用状況や直近1年分の四半期報告書が閲覧可能

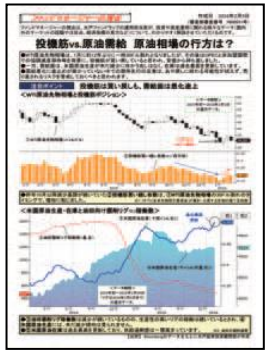
【時価情報、四半期報告書、臨時レポート等】

②お客さま専用ページ

水戸ファンドラップをご契約いただいているお客さま向けにマーケット情報等さまざま情報を掲載

【資産別リターン表】

【ファンドマネージャーの視点】



■ フォローアップセミナー＆個別相談

・営業店、お客さまの要望に応じた個別対応で、手厚いフォローを実践

水戸ファンドラップ紹介動画

◆ マーケティング力の進化【提案力の強化⑤】

MITO SECURITIES

水戸ファンドラップを活用したお客さま満足度向上の試み【現状と提案の高度化】

■ 当社ファンドラップ顧客の現状

- 当社の投資信託信残高に占めるファンドラップ残高の比率　**17.5%**（2016年3月末）
- ファンドラップ顧客数　**3,773名**（2016年4月末）　全有残口座の**2.6%**
- ファンドラップ増額注文比率(2015年度ファンドラップ設定額に占める既往顧客による買増し比率)　**47%**

- 当社ファンドラップ顧客は、株式・投資信託等の投資ポートフォリオの一部にファンドラップを組み入れているケースが大多数
- また、ファンドラップ顧客は営業員との接触頻度も相対的に高く、結果ファンドラップ純増における既往顧客のリピートオーダー(増額注文)比率は比較的高率に

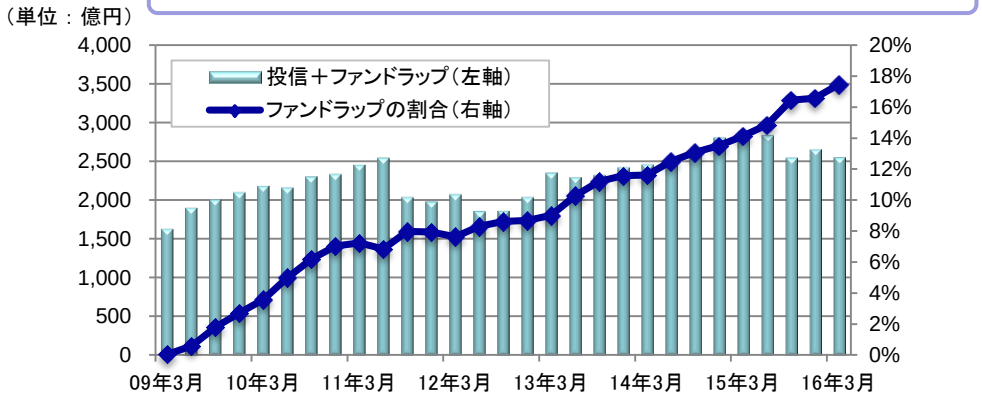
- ファンドラップを組み合わせた商品提案を行うことが「お客さま満足度向上」の一つの鍵
- ファンドラップをコアにすることで預金からのシフト等お客さまの預り資産嵩上げが期待される

■ ファンドラップセールスにおけるゴールベース的提案の高度化

現状　人生90年時代に資産を減らさない為、ファンドラップを使った投資ポートフォリオ構築を提案するスタイル

今後　「お客さまが何をしたいか」に合わせた中長期の投資ポートフォリオ構築のソリューションとしてファンドラップを活用し、ファンドラップのみならず家族口座の取り込みや他商品のクロスセルを狙っていく方針

「投資信託＋ファンドラップ」に占めるファンドラップの割合（残高比率）



◆マーケティング力の進化【総合力の強化①】

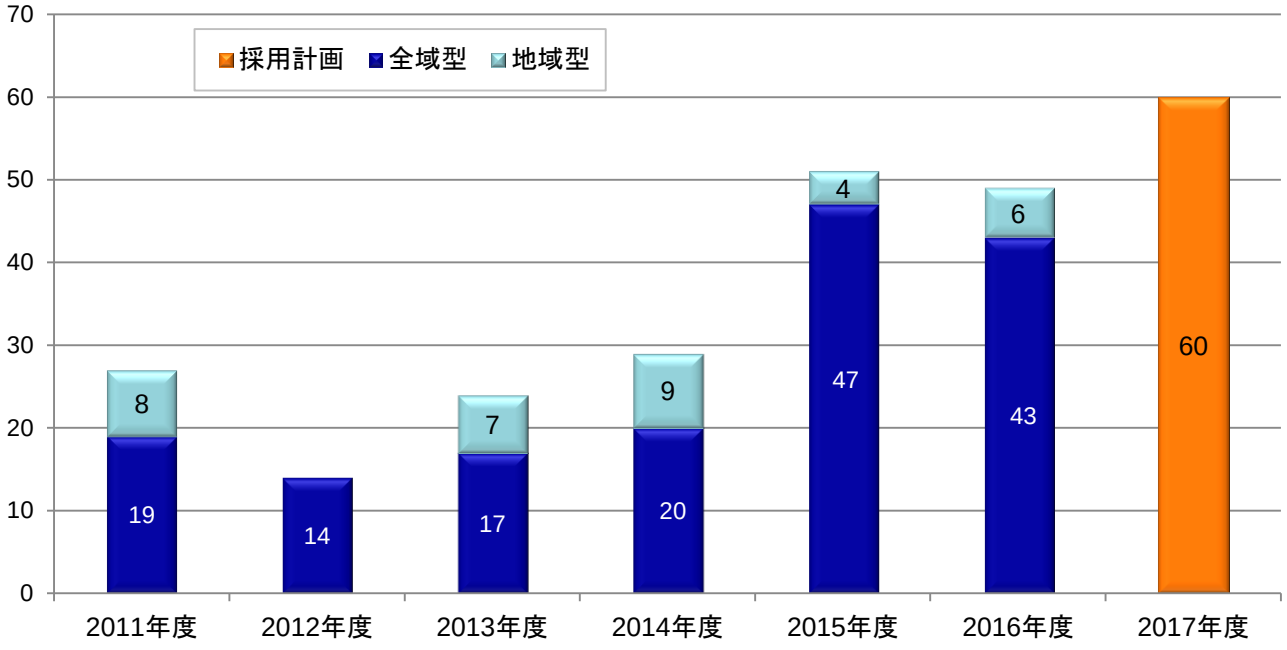
MITO SECURITIES

営業力強化 【営業員の増強】

- 新卒採用は、2015年度51名（男性28名、女性23名）、2016年度49名（男性25名、女性24名）採用
  2017年度は60名の採用計画
  → 新人配属課にて、専属の課長のもと営業員の育成を強化
- 今後、営業員を毎年30名程度増加させる計画
  2016年3月末の営業員数 432名 → 2019年3月末計画 522名へ

新規採用推移

（単位 ：人）



◆ マーケティング力の進化【総合力の強化②】

MITO SECURITIES

営業力強化 【隣県出店】

- ◆ 関東一円に27店舗を展開
- ◆ 2014年6月に栃木県下野市、2015年7月に埼玉県鶴ヶ島市に営業所を開設
- ◆ 営業員の増加を踏まえ隣県出店を企画、既存店とのシナジーを図り営業基盤を面的に拡大

『栃木県にも強い水戸証券』へ

2014年6月
小山支店のサテライト店舗として下野市に下野営業所を開設

2015年12月
高崎支店
移転オープン

『埼玉県にも強い水戸証券』へ

2015年7月
東松山支店のサテライト店舗として鶴ヶ島市に鶴ヶ島営業所を開設

2016年4月
日立支店（仮店舗）
移転オープン

ドミナントエリア
創業地、茨城県

茨城県に強い水戸証券

定着
&
更なるブランド強化

◆ マーケティング力の進化【総合力の強化③】

MITO SECURITIES

ウェルスマネジメントによるお客さまランクアップおよび次世代マネーの取り込み

■ 資産運用のご提案から資産承継・相続に至る幅広いニーズに対し、金融機関としてのソリューションを提供

◆ **ウェルスマネジメント、コンサルティング営業のこれまでの成果**

・ 講演会・セミナー

ウェルスマネジメント部（2013年4月設立）の経験・知識が豊かな専門部員が、各営業店にて、定期的に「相続・贈与」等さまざまなテーマで講演会を開催

＜ 2015年度実施状況＞
富裕層セミナー54回、参加者1,131名
個別相談141名
・親子、夫婦での参加者が増加
・リピーター増加と共に個別相談へ発展
・税理士の無料相談には、セミナー参加者以外からの申し込みも多い

・ 個別相談会

幅広い金融知識をベースに相談対応

・ 外部専門家との提携

お客さまのご要望にお応えするために、弁護士、税理士、不動産業者、保険業者等、外部の専門家と協力

お客さまと末永いリレーションを構築

お客さまと税務、保険、不動産等に係る包括的サポート体制を構築することで、お客さまのランクアップ、家族や次世代マネーの取り込みを図る

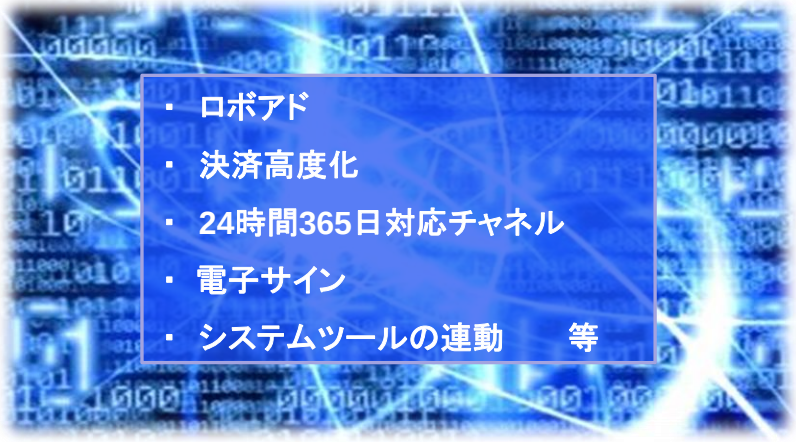
◆ マーケティング力の進化【総合力の強化④】

MITO SECURITIES

対面サービスの向上と ＩＴ

・お客さまの利便性向上
・競合他社との差別化
・新商品、新サービスの提供
・業務プロセスの効率化
・コスト削減

ITを活用した新たな取組みを模索中



- ロボアド
- 決済高度化
- 24時間365日対応チャネル
- 電子サイン
- システムツールの連動　　等

iPadを活用したコンサルティング営業の推進

■ 2014年より営業員全員にiPadを支給

■ 提案力強化の具体的ツールとしてiPadの最大限活用を図る

◆ スキルアップ

MITO SECURITIES

1. アドバイススキルアップ
   コンサルティング営業の推進
   社員FP取得率　目標100%
   （2016年3月現在　71.7%）

2. お客さまサービスアップ
   信頼される行動五ヶ条の策定と取組み

3. マネジメント力アップ
   支店長が最大のパフォーマンスを上げるための自店独自の運営プランを策定

4. モチベーションアップ
   人事制度、評価制度の改定、人材育成への更なる取組み

■ お客さまからの信頼度NO．1を目指す

お客さまから信頼される行動

1. 一人ひとりがプロであるという高い職業意識を持つ
2. 向上心を持って絶えず学び続ける
3. お客さまの目線に立って誠実丁寧に応対する
4. 先を考えて行動する
5. 感謝の気持ちを持って接する

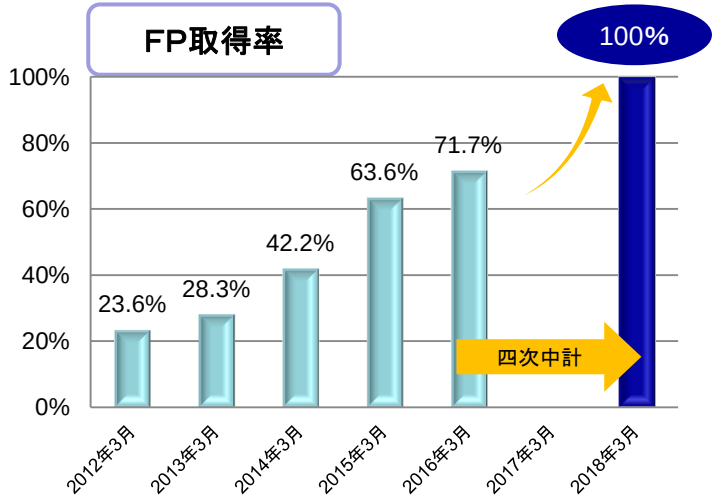
＜携帯カード＞

人材育成

■ **社内研修制度**
マネジメント研修、階層別研修、コンプライアンス研修　他

■ **キャリア開発研修**
若年層キャリアアップ研修、女性キャリア支援研修、FP試験対策セミナー、CFP養成講座、eラーニング講座、MBAプログラム　他

■ **新人育成体制**
新人配属課を9課創設、成績トップクラスの課長のもと手厚い育成体制を構築



◆ CSR／地域貢献

CSR原則

■ 金融サービスの提供や社会づくりを支援するなど多面的に社会に貢献し、もって経済的価値と併せ**社会的価値**を創造

地域貢献活動方針

水戸証券は、地域と金融と未来をつなぐ架け橋になりたい

次世代のために ～ for the next generation ～

≪ 3つの重点分野 ≫

CSR活動

■ CSR原則に沿った地域貢献活動方針の推進 → 1%クラブ、未来サポート制度

寄付	東日本大震災、関東・東北豪雨災害への寄付、水戸室内管弦楽団への寄付、寄附付ファンド
地域の安心のために	茨城県と認知症普及啓発企業連携事業協定を締結、11店舗にAEDを設置
金融リテラシーの向上に貢献	日本証券業協会「土曜学習」への講師派遣協力、産学連携活動（大学での講義、インターンの受入れ）
地域社会活動への参加	お祭り、ロータリー、ボランティア活動等への参加

◆ ブランディング戦略

MITO SECURITIES

ブランディングの形成イメージ

認知度

差別化

ロイヤリティ

- マス媒体への露出度を増やす
- 当社のアピールポイントを絞ってあらゆる場で提供
- 各種スポンサー
- CSR活動
- 経営ビジョン
- 本業実績の公表アピール
- リサーチ機能の強化

ブランディング戦略の具体的な推進

1. **マス媒体への露出度を高める**
   - ・記者クラブへの働きかけ
   - ・積極的なプレスリリース、ニュースレター
2. **CSR活動の充実**
   - ・活動内容をホームページで積極アピール
   - ・活動内容の新聞等への掲載アピール
3. **企業イメージの統一**
   - ・ロゴ、コーポレートカラー、キャラクター、キャッチコピー
4. **公式ホームページへの誘導(ユーザーの増加)**
   - ・各種活動の積極的な開示
   - ・ユーザーの使いやすさを重視したコンテンツの改修
5. **各種活動との連動を図り企業イメージアップの相乗効果を図る**
   - ・CSR活動、経営ビジョン、IR活動、CS向上活動等
6. **社員ブランドの向上**
   - ・知識、応対、身だしなみ等において一流を目指す

◆ 株主還元

資本政策の基本方針

- 配当方針　安定的かつ継続的な配当を勘案しつつ、配当性向30%以上となるよう業績に応じた配当を行う
- 自社株買い　市場や業績、総還元性向などを総合的に勘案しつつ、機動的に実施する
- 自社株消却　自社株の使途については株式報酬、M&A、処分などが考えられるが、過剰な数量を保有しないよう適宜消却を実施する
- ROE　株主資本を有効活用するため、ROEに配慮した適度な自己資本を維持する

配当金推移

		2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期
純利益		2,612百万円	3,756百万円	2,485百万円	1,983百万円
1株利益		35.24円	50.67円	34.04円	27.65円
1株当たり配当金額	中間	ー	7.0円	5.5円	6円
	期末	12.0円	9.0円	11.0円	7円
	合計	12.0円	16.0円	17.5円	13円
純資産配当率		2.9%	3.4%	3.2%	2.4%
配当性向		34.1%	31.6%	48.5%	47.0%
総還元性向		34.1%	31.6%	79.5%	67.3%

自己株式の取得

- 2014年8月　(約150万株、6億円)取得
- 2014年10月　(50万株、1億85百万円)取得
- 2015年10月～11月　(100万株、4億10百万円)　取得

＜参考資料＞

◆ 会社概要・経営理念

MITO SECURITIES

概要

商号	水戸証券株式会社
英文	Mito Securities Co.,Ltd.
本店所在地	東京都中央区日本橋二丁目3番10号
創業	大正10年4月1日
資本金	12,272,985,600円
店舗数	27店舗
従業員数	716名(平成28年3月31日現在)
上場取引所	東京証券取引所市場第1部 (8622)
加入取引所	東京証券取引所・大阪取引所・名古屋証券取引所

本社(日本橋丸善東急ビル)

水戸支店

経営理念

水戸証券は、顧客・株主・社員にBESTをつくす企業でありたい

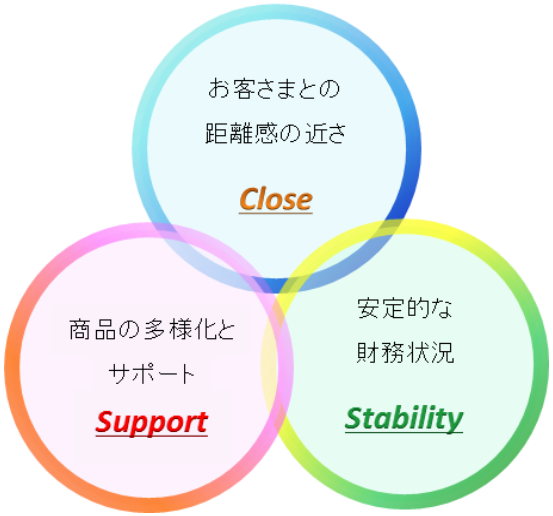
◆ 特徴とあゆみ

MITO SECURITIES

水戸証券の特徴

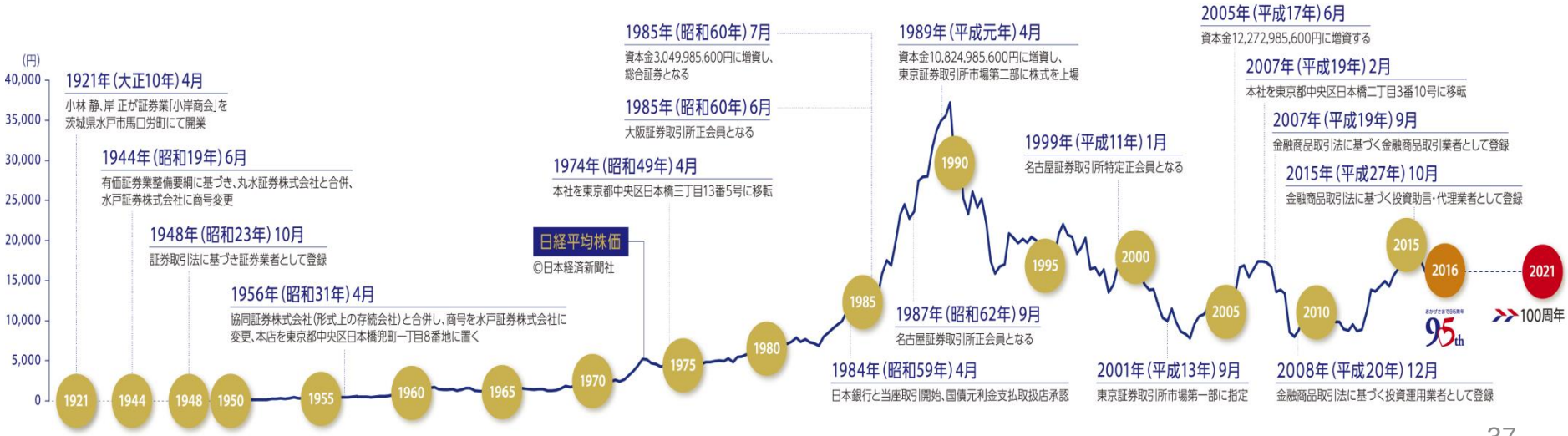
- 関東エリアを中心としたネットワークを構築する地域密着スタイル
- 多様な販売チャネルを持ち合わせた、対面営業主体の総合証券
- 堅実な経営を貫き、自主独立を堅持

水戸証券の強み



水戸証券のあゆみ

おかげさまで創業95周年、そして100周年に向けて



◆ 創業の地、茨城

発展・拡大する茨城

■ 交通インフラの整備と県内への主な工場進出

■ 高速道路は、常磐道に加え、
平成23年3月　北関東自動車道全線開通
平成27年6月　圏央道、東関東自動車道開通
により東西南北の物流網が大きく向上。

■ 2008年、3港が統合し茨城港が誕生。東京湾に比較して北米ルートの優位性を発揮。

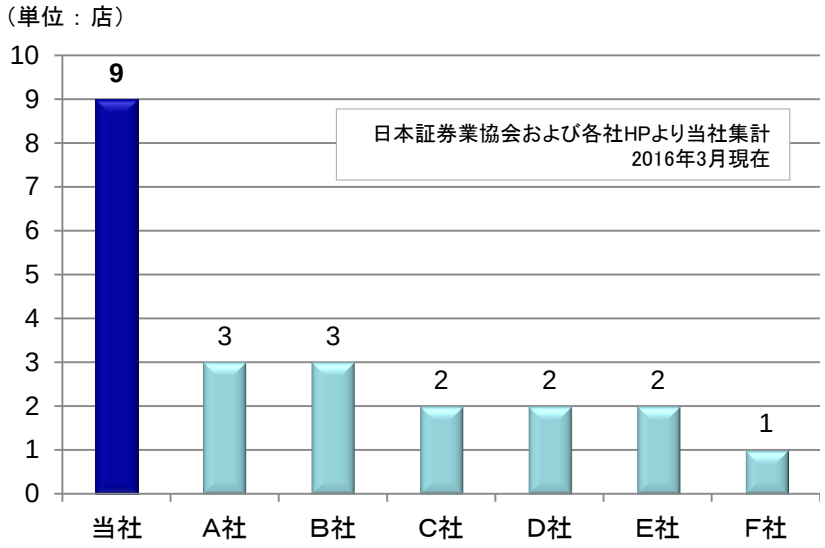
■ つくばエクスプレスは、都心アクセス性が支持され、引き続き沿線人口の増加傾向が続く。
■ 2010年茨城空港が開港、圏央道開通により成田空港へのアクセスも大きく向上。

興奮と感動のスポーツの祭典が、45年ぶりに茨城に

いきいき茨城ゆめ国体2019
第74回国民体育大会　翔べ　羽ばたけ　そして未来へ

茨城県内の店舗出店状況

■ 茨城県内の証券会社15社30店舗中、当社9店舗展開



◆ 株主構成

MITO SECURITIES

大株主の状況

	株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
1	株式会社野村総合研究所	5,560	7.82
2	株式会社常陽銀行	3,474	4.88
3	小林協栄株式会社	3,276	4.61
4	東洋証券株式会社	2,800	3.94
5	株式会社みずほ銀行	2,000	2.81
6	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,610	2.26
7	第一生命保険株式会社	1,200	1.69
8	株式会社武蔵野銀行	1,167	1.64
9	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,066	1.50
10	小林一彦	1,018	1.43

（注） 当社は自己株式として4,567千株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。
また、発行済株式総数に対する所有株式数の割合の算出は、発行済株式総数から自己株式を除いております。

株式の状況

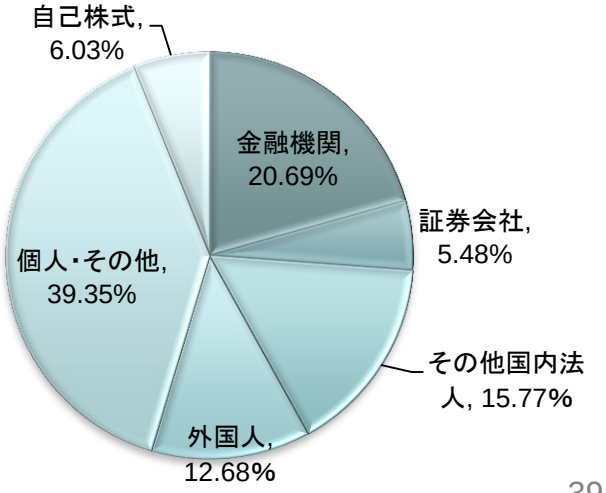
発行可能株式総数	194,600,000株
発行済株式の総数	75,689,033株
株主数	9,212名

※データはすべて2016年3月末現在

所有者別持株状況

	株主数（名）	持株数（千株）	持株比率（%）
金融機関	33	15,662	20.69
証券会社	33	4,144	5.48
その他国内法人	94	11,935	15.77
外国人	118	9,598	12.68
個人・その他	8,933	29,780	39.35

所有者別持株比率



◆ コーポレート・ガバナンス

MITO SECURITIES

コーポレート・ガバナンス体制

■ より強固なガバナンス機能を発揮するために

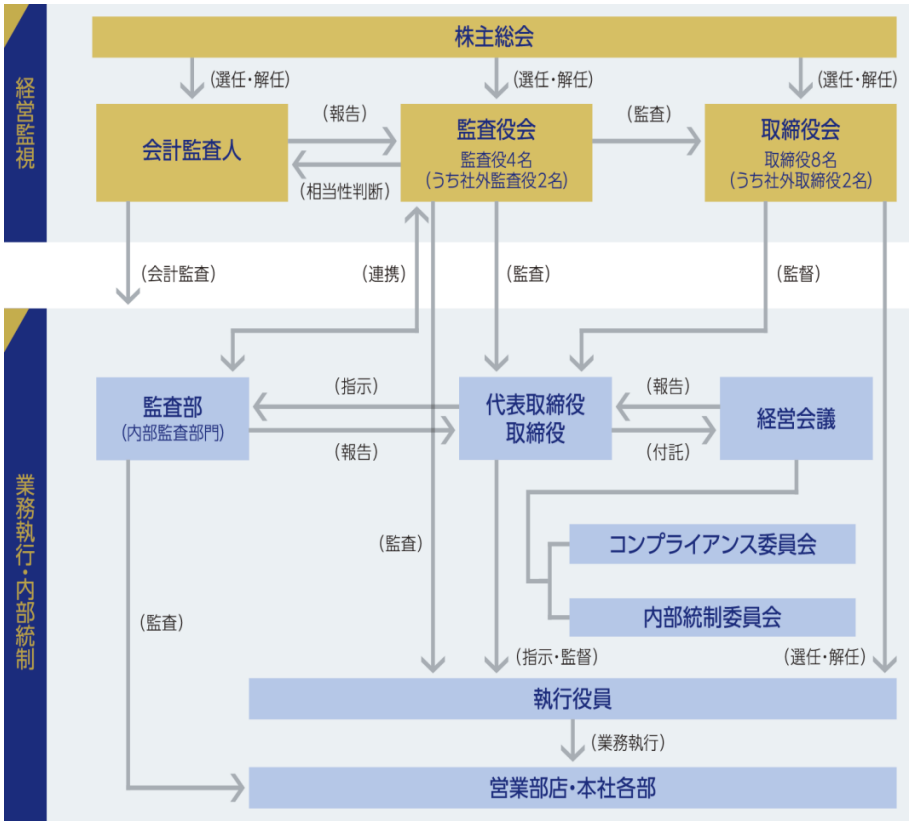
- 監査役制度を採用
- 社外取締役（2名）および社外監査役（2名）を選任
- 執行役員制度を導入

コーポレート・ガバナンスに関する基本方針

当社は、次の基本的な考え方に沿ってコーポレー・ガバナンスの充実を図る

1. 株主の権利を尊重し、平等性を確保する
2. 株主を含むステークホルダーの利益を考慮するとともに、適切に協働する
3. 会社情報を適切に開示し、透明性を確保する
4. 独立社外取締役が主要な役割を担う仕組みを構築し、取締役会による業務執行の監督機能を強化する
5. 中長期的な株主の利益と合致する投資方針を有する株主との間で建設的な対話を行う
6. 適切な内部統制システムを構築する
7. 強固なリスク管理体制を構築する
8. コンプライアンス意識の維持・向上を図る

コーポレート・ガバナンス体制図



◆ 米国株式

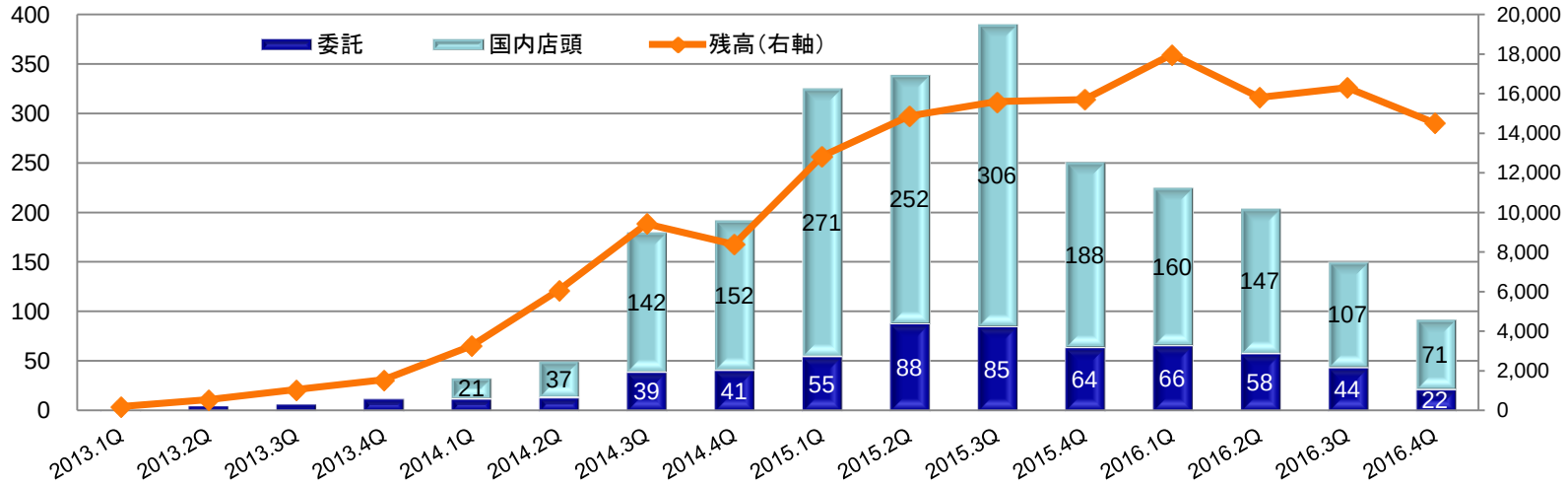
米国株式（取扱銘柄数と時価残高）

（単位：百万円）

	取引形態	2012年 9月末	2013年 3月末	2013年 9月末	2014年 3月末	2014年 9月末	2015年 3月末	2015年 9月末	2016年 3月末
取扱銘柄数	委託	30	35	34	44	53	67	77	88
	国内店頭	—	—	21	40	49	63	71	76
時価残高		541	1,544	6,080	8,391	14,879	15,708	15,812	14,524

米国株式（収益と時価残高の推移）

（単位：百万円）

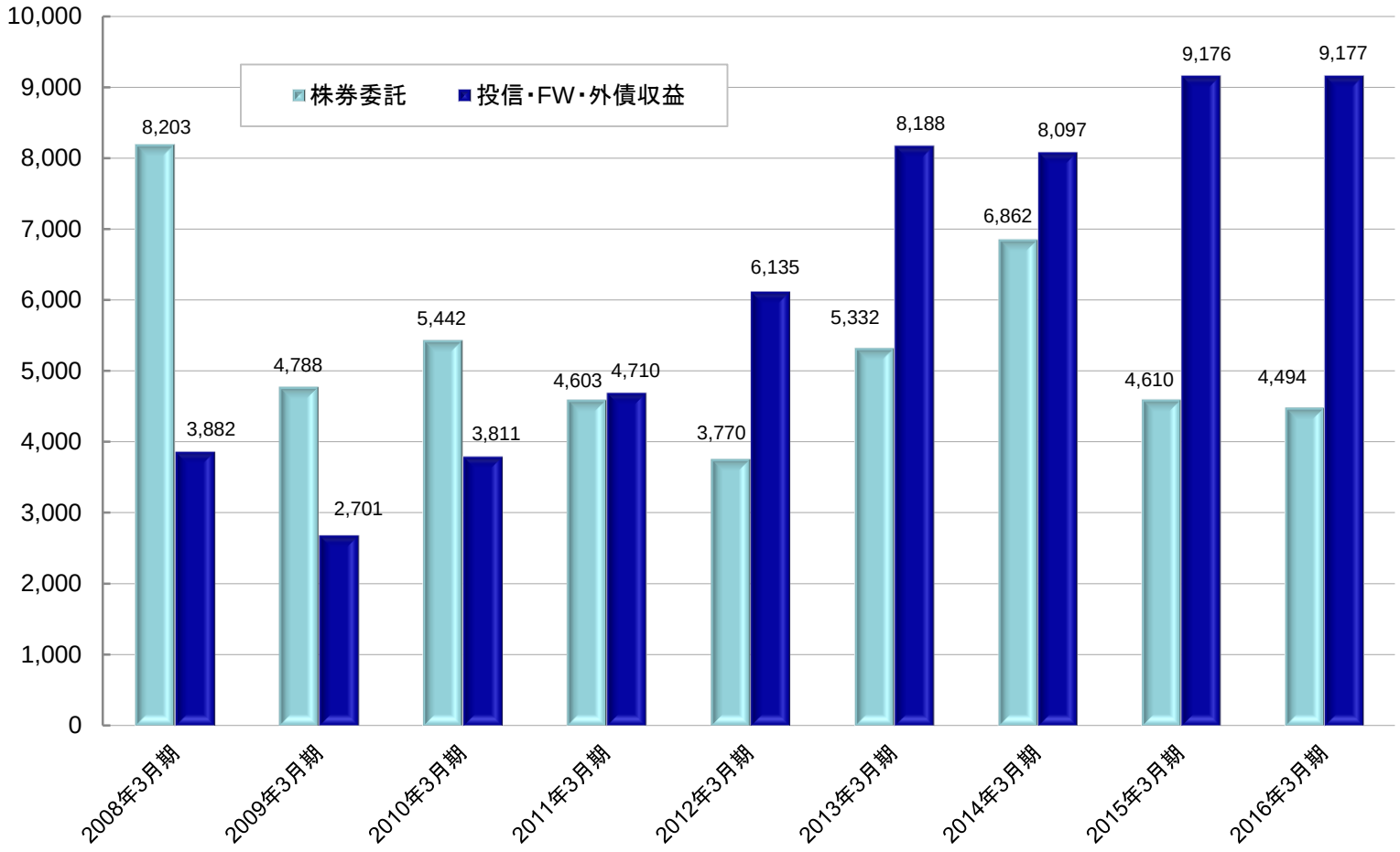


◆ 商品別収益の推移

MITO SECURITIES

株式委託手数料および投資信託・ファンドラップ・外国債券の収益

（単位：百万円）

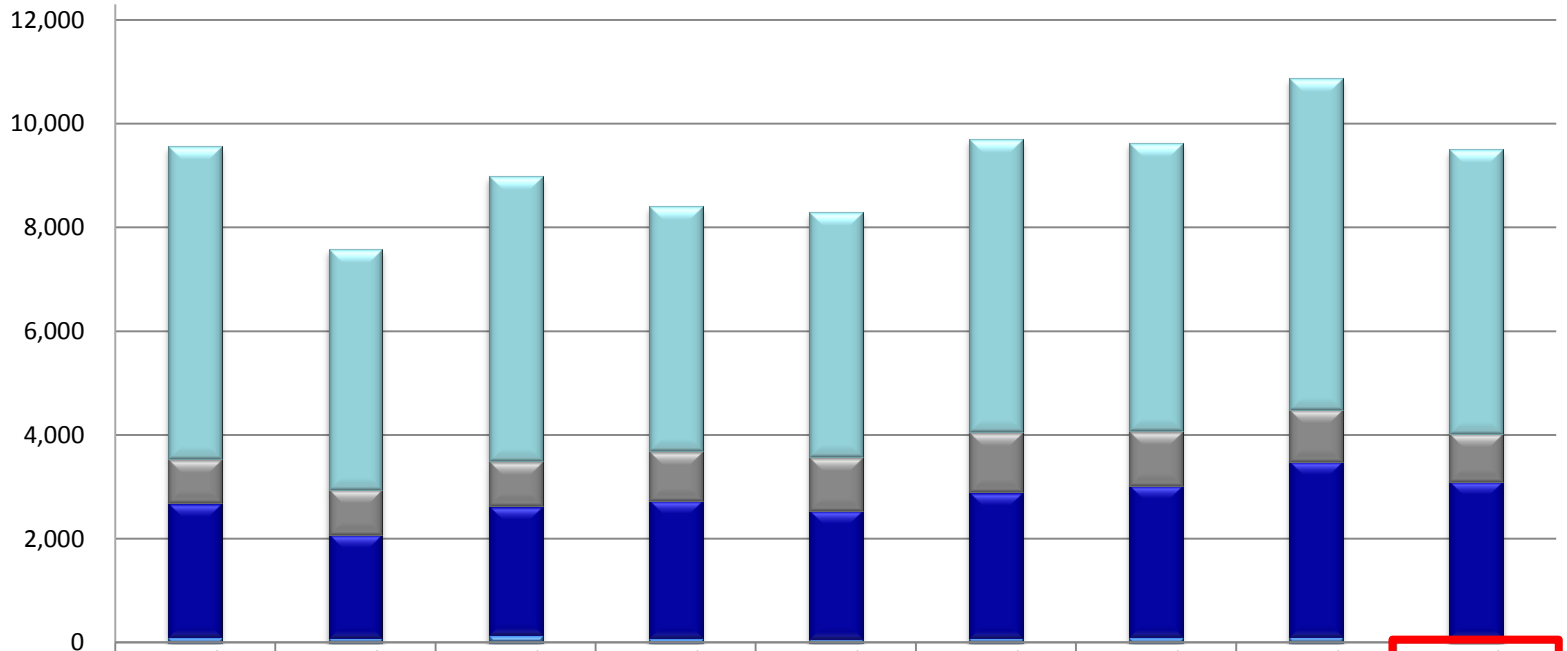


◆ 商品別預り資産の推移

MITO SECURITIES

株式・債券・受益証券の預り資産

（単位：億円）



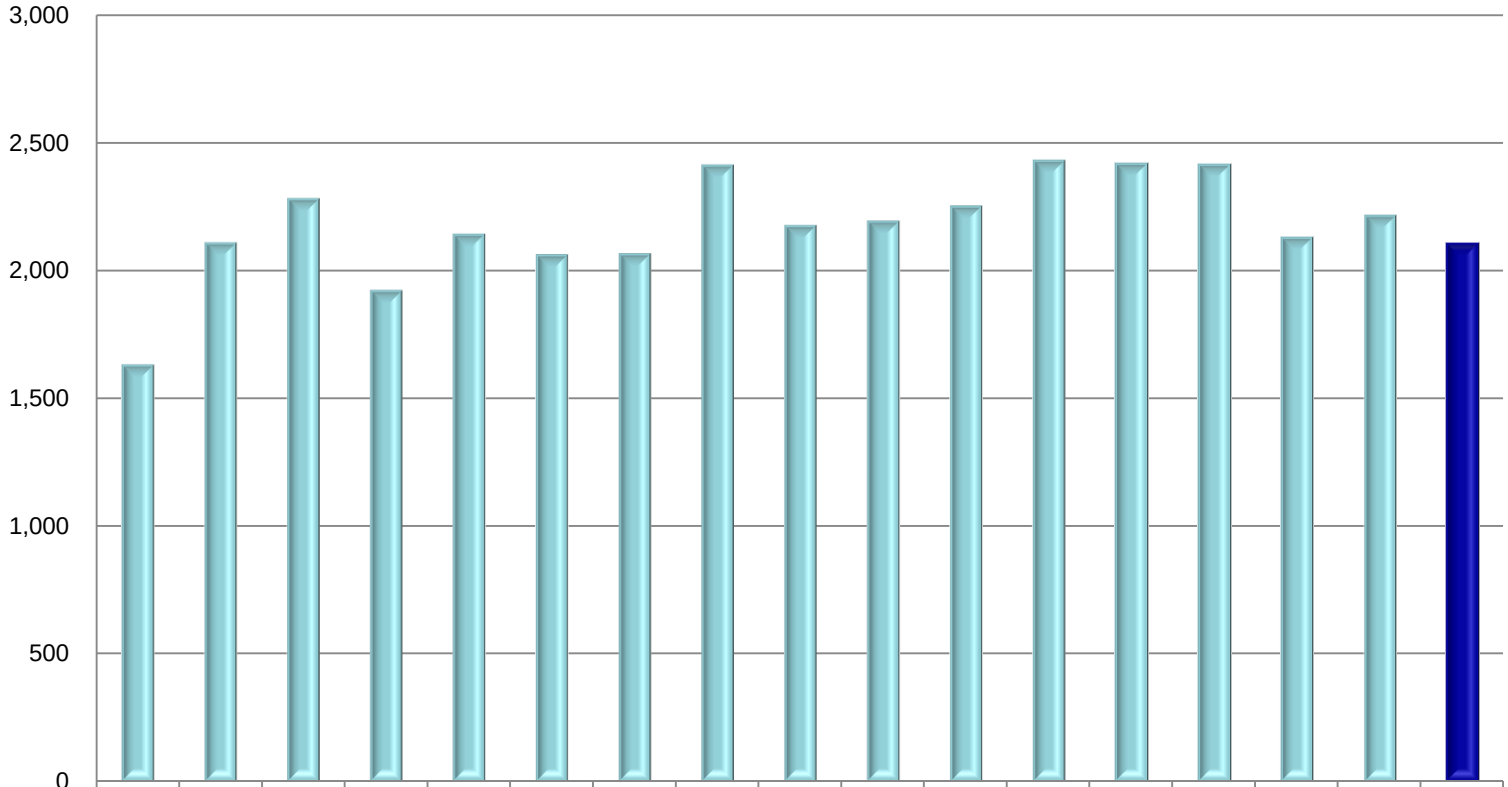
	2008年3月末	2009年3月末	2010年3月末	2011年3月末	2012年3月末	2013年3月末	2014年3月末	2015年3月末	2016年3月末
株式	6,024	4,630	5,489	4,710	4,715	5,637	5,551	6,377	5,472
債券	849	865	859	949	1,030	1,152	1,055	1,001	925
受益証券	2,585	1,991	2,486	2,651	2,465	2,809	2,919	3,376	3,017
その他	106	95	151	88	83	96	105	113	92

◆ 投資信託の残高推移

MITO SECURITIES

投資信託（ファンドラップ除く）の残高

（単位：億円）



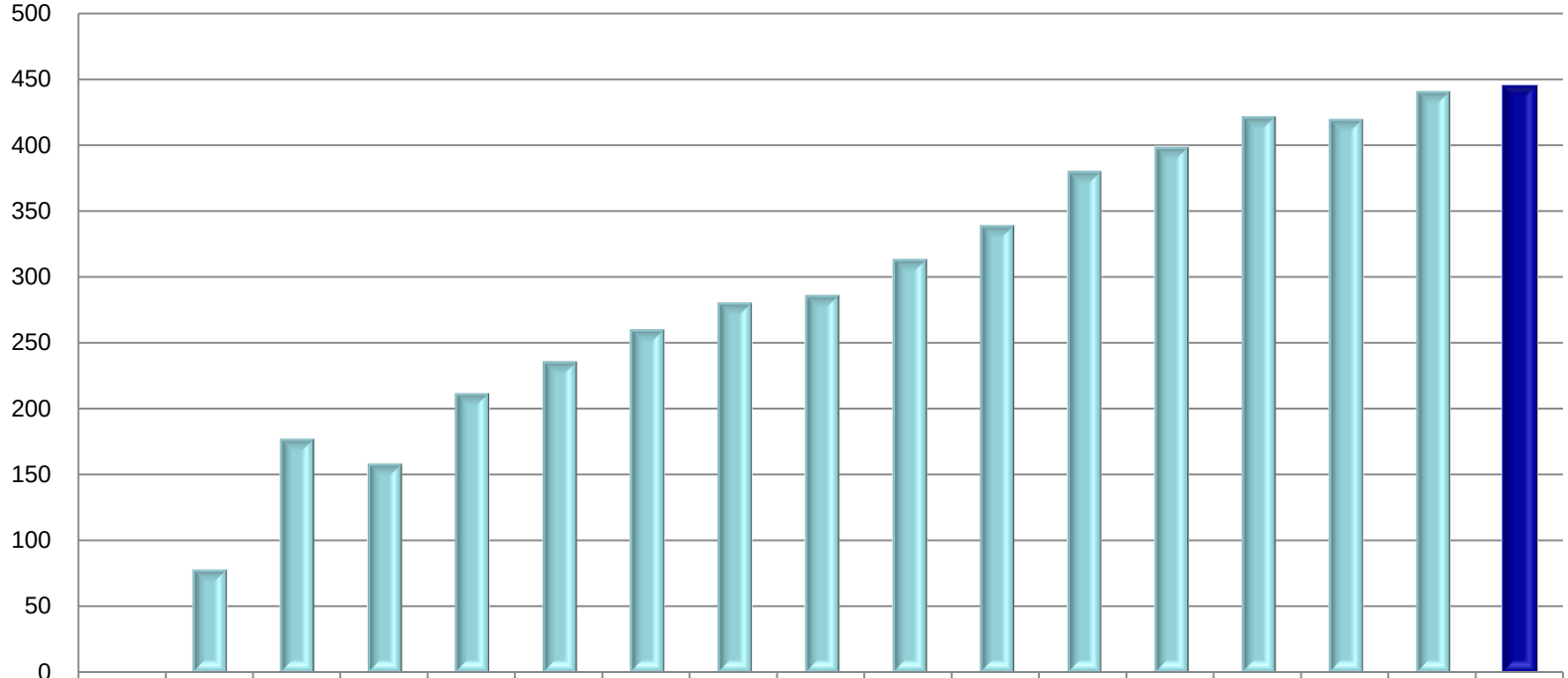
	2009.3	2010.3	2011.3	2012.3	2013.3	2013.6	2013.9	2013.12	2014.3	2014.6	2014.9	2014.12	2015.3	2016.1	2016.2	2016.3	2016.4
投信残高（FW除く）	1,635	2,113	2,285	1,925	2,146	2,066	2,069	2,416	2,180	2,198	2,256	2,436	2,423	2,420	2,135	2,220	2,111

◆ ファンドラップの残高推移

MITO SECURITIES

ファンドラップの残高

（単位：億円）



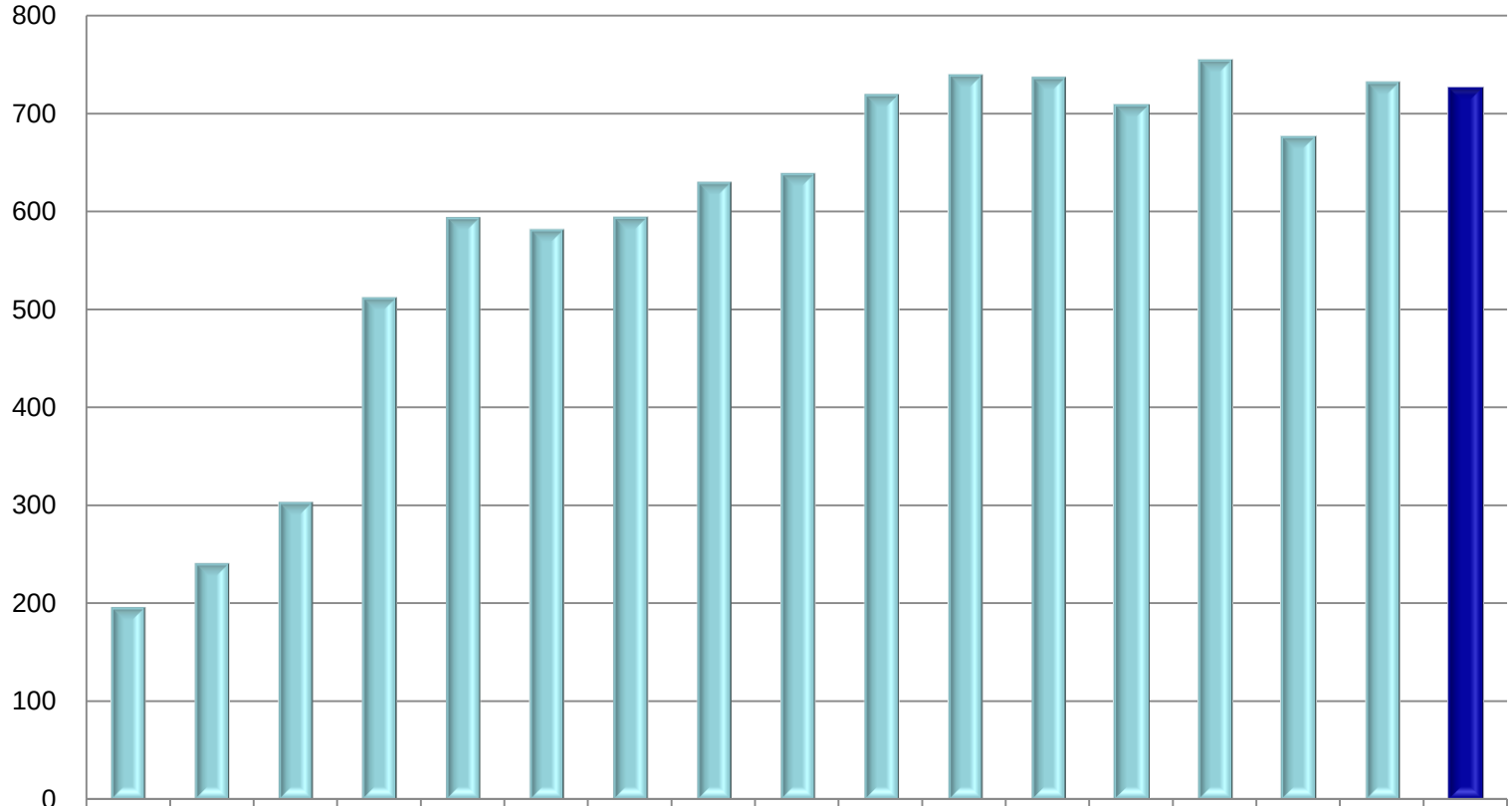
	2009.3	2010.3	2011.3	2012.3	2013.3	2013.6	2013.9	2013.12	2014.3	2014.6	2014.9	2014.12	2015.3	2016.1	2016.2	2016.3	2016.4
FW残高	1	79	178	159	212	237	261	281	287	314	340	381	399	422	420	441	446

◆ 外国債券の残高推移

MITO SECURITIES

外国債券の残高

（単位：億円）



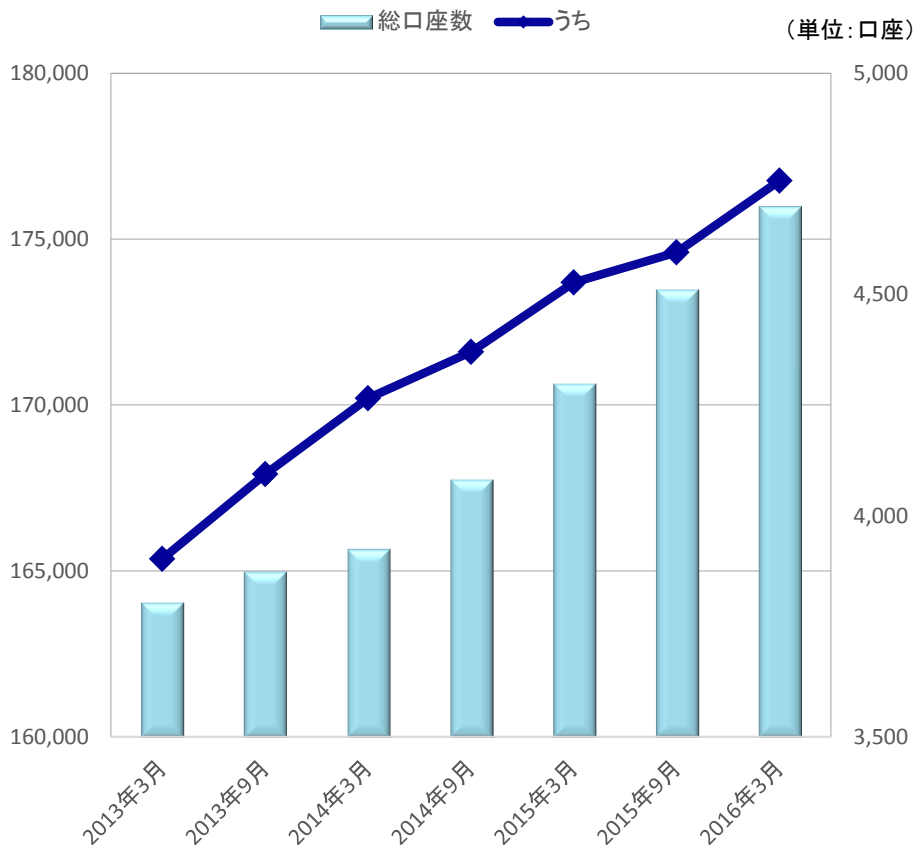
	2009.3	2010.3	2011.3	2012.3	2013.3	2013.6	2013.9	2013.12	2014.3	2014.6	2014.9	2014.12	2015.3	2016.1	2016.2	2016.3	2016.4
外債残高	197	242	305	513	595	583	595	631	640	720	740	738	710	756	677	733	728

◆ 登録口座の状況

MITO SECURITIES

（単位：口座）

	総口座数	うち 水戸ネット
2013年3月	164,087	3,902
2013年9月	165,016	4,094
2014年3月	165,693	4,265
2014年9月	167,795	4,370
2015年3月	170,679	4,527
2015年9月	173,509	4,595
2016年3月	176,004	4,757



◆ NISAの状況

MITO SECURITIES

（百万円）

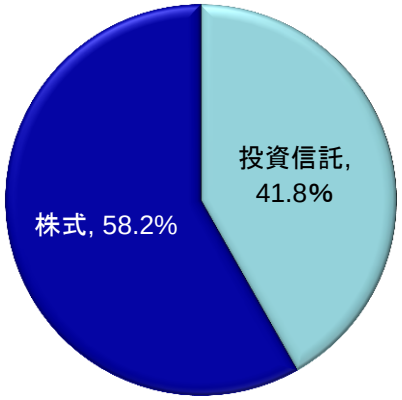
		NISA口座			ジュニアNISA口座開設数
		NISA口座開設数	稼働口座数※	稼働率	
2014年	3月末	39,832	8,117	20.4%	－
	9月末	42,408	14,552	34.3%	－
2015年	3月末	44,301	20,323	45.9%	－
	9月末	45,607	24,161	53.0%	－
2016年	3月末	46,714	27,547	59.0%	－

NISAへの取組み（2016年3月末現在の開設状況）

開設済み口座　46,714件

うち稼働口座　27,541件（稼働率　59.0%）

商品別買付比率（金額ベース）



◆ 人員数

MITO SECURITIES

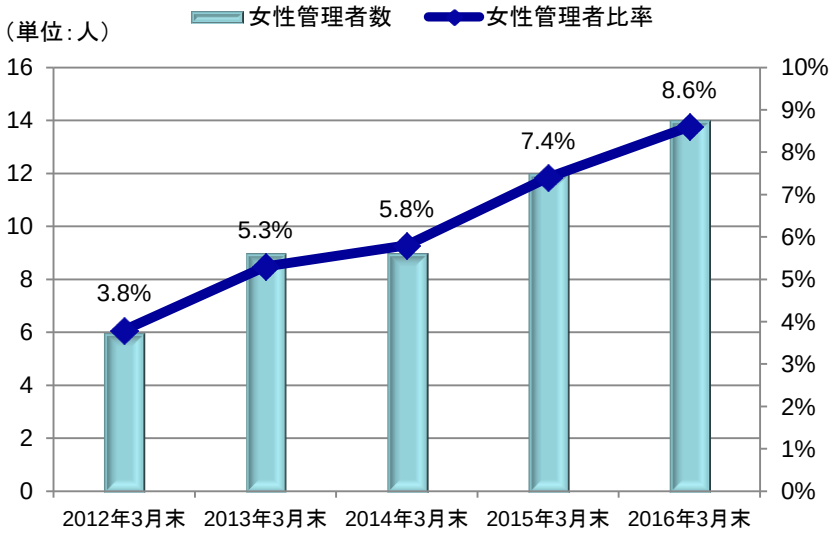
（単位：人）

	総人員数	性別				職種	
		男性	比率	女性	比率	営業	事務
2012年3月末	720	551	76.5%	169	23.5%	455	265
2013年3月末	673	524	77.9%	149	22.1%	426	247
2014年3月末	673	524	77.9%	149	22.1%	421	252
2015年3月末	683	535	78.3%	150	21.7%	405	278
2016年3月末	716	542	75.7%	174	24.3%	432	284

女性管理者数・女性管理者比率

（単位：人）

	管理者				
	合計	男性	比率	女性	比率
2012年3月末	158	152	96.2%	6	3.8%
2013年3月末	151	143	94.7%	9	5.3%
2014年3月末	156	147	94.2%	9	5.8%
2015年3月末	162	150	92.6%	12	7.4%
2016年3月末	162	148	91.4%	14	8.6%



※役員、執行役員、歩合外務員、臨時職員を除く

Humanilation――信頼のきずな

MITO

水戸証券株式会社

＜ お問合わせ先 ＞

水戸証券株式会社 広報部
東京都中央区日本橋 2-3-10
TEL ： 03-6739-5531
kouhou@mito-sec.jp
URL ： http://www.mito.co.jp

商 号 等 ／ 水戸証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号
加入協会 ／ 日本証券業協会 一般社団法人 日本投資顧問業協会

Copyright © 2016 MITO SECURITIES CO., LTD. All Rights Reserved.